

1. スタイリングⅡ：難波 由美子
2. 編集スタイリング：細谷 典子
3. 和のコーディネート：岩瀬 晃
4. ファッションアドバイステクニック：大方 和則
5. カメラワーク：石田 英士
6. カラーコーディネート：杉本 祐子
7. マーケティング企画：玉村 雅美
8. リテールマーケティングⅡ：畑中 修司
9. ビジュアルマーチャンダイジングⅡ：大橋 康子
10. スタイリストワーク：難波 由美子
11. プレゼンテーション：畑中 修司
12. ファッション造形Ⅱ：小堀 雅恵
13. コミュニケーションマナーⅡ：秋山 美子
14. 英会話Ⅱ（シニアコース）：SUZANNE STEINER
15. 英会話Ⅱ（エレメンタリーコース）：JERRY SCHLEGEL

科目名	スタイリングⅡ	教員名	難波 由美子
授業時数・単位	135 時間 4.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客からのどんな要望にも対応ができるように、いろいろな視点からトータルコーディネートができる力を身につける。 ・課題制作において仲間と協力して仕事を進める楽しさを知り、仕事への意欲が持てるようにする。 ・リメイク衣装製作や撮影実習において、創造力や発想力を養い、更にカタチとして表現できるようにする。 ・プロのカメラマンの指導のもと、撮影現場でのスタイリストの仕事の役割を理解し、スタイリストとしてのやりがいに繋げられるようにする。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションのトータルコーディネートができるようになり、洋服のコーディネートに留まらず、背景や小道具のトータル的な演出が出来るようになること。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通してコミュニケーション力を養うとともに、自己表現ができるように指導する。 ・課題制作を通して、各自にスタイリングコーディネートの個別指導をしていく。 ・自分の就きたい職業が明確にできるように、学生一人ひとりとコミュニケーションを図っていく。 ・自分の考えたコーディネートを的確に伝えられるように、参加型の授業を取り入れる。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題(出来映えなどの構成力も含む) 50% ・コーディネート力 30% ・スタイリストの実技 20% ・出席率 加点+0~15% ・授業、課題に対する積極性、授業態度 加点+0~10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界について	ファッション業界について
2回	撮影実習	テーマに合わせたコーディネート
3回	ファッションが教えてくれたこと	ビデオ鑑賞を通して学ぶ
4回	共通性のあるコーディネート	アイドルユニットのコスチュームデザインを描く(三人組以上)
5回	共通性のあるコーディネート	コスチュームデザインの仕上げとプレゼンテーション
6回	シャツのリメイク/イメージコーディネート①	リメイクデザイン画を描く/エレガントとマニッシュなコーディネート
7回	シャツのリメイク/イメージコーディネート②	リメイクデザインを個別チェック/モダンとロマンティックなコーディネート
8回	シャツのリメイク/イメージコーディネート③	リメイクデザインをチェック/クラシックとアバンギャルドなコーディネート
9回	シャツのリメイク/イメージコーディネート④	リメイクデザインをチェック/スポーティブとエスニックなコーディネート
10回	撮影実習 コンセプトとテーマ作成	班ごとに撮影のテーマとコンセプトを決める
11回	撮影準備 制作(1)	衣装・小道具・大道具 デザイン
12回	撮影準備	材料の買い付け
13回	撮影準備 制作(2)	衣装・小道具・大道具 制作
14回	撮影準備 制作(3)	衣装・小道具・大道具 制作
15回	撮影準備	材料の買い付け
16回	撮影準備 制作(4)	衣装・小道具・大道具 制作
17回	撮影準備 制作(5)	衣装・小道具・大道具 制作
18回	前期確認テスト/裾上げ	前期確認テスト/裾上げ
19回	撮影準備 制作(6)	衣装・小道具・大道具 制作
20回	撮影準備 制作(7)	衣装・小道具・大道具 制作
21回	撮影準備 制作(8)	衣装・小道具・大道具 制作
22回	撮影最終チェック	衣装を運び入れモデル科との最終打ち合わせ
23回	撮影実習	プロのカメラマンによる撮影実習
24回	体型カバーテクニック①	背の高さ低さをカバーできる服のコーディネート
25回	体型カバーテクニック②	細い太い体型をカバーできる服のコーディネート
26回	インテリアコーディネート①	様々なライフスタイル様式を知る
27回	インテリアコーディネート②	ライフスタイルに応じたスタイリング
28回	プロップコーディネート	撮影小道具の知識・コーディネート
29回	カラーテクニック	カラーコーディネートテクニックを学ぶ
30回	シャツのリメイクコーディネート案デザイン	シャツのリメイクコーディネート画を描く
31回	コーディネート案チェック/小物制作	リメイクデザインを個別にチェック 各自必要な小物をアレンジ制作する
32回	コーディネート案チェック/小物制作	リメイクデザインを個別にチェック 各自必要な小物をアレンジ制作する
33回	コーディネート案チェック/小物制作	リメイクデザインを個別にチェック 各自必要な小物をアレンジ制作する

34回	コーディネート案チェック／小物制作	リメイクデザインを個別にチェック 各自必要な小物をアレンジ制作する
35回	シャツのリメイクコーディネート審査	各自がモデルに服を着せ審査会に参加する
36回	コーディネート修正案チェック／小物制作	コーディネートの修正や服の直しを考える
37回	コーディネート修正／小物制作	コーディネートの修正や服の直しを完成する
38回	コーディネート修正と小物の完成	コーディネートの修正や服の直し、小物を完成する
39回	シーンに合わせたスタイリング	様々なシチュエーションを想定してスタイリング
40回	和を取り入れたスタイリング①	和の要素を取り入れてスタイリングする
41回	和を取り入れたスタイリング②	和の要素を取り入れてスタイリングする
42回	トータルプロデュース①	トータル的にスタイリングする／撮影参加班＝アイロン掛け等の準備
43回	トータルプロデュース②	トータル的にスタイリングする／ショー参加班＝アイロン掛け等の準備
44回	トータルプロデュース③	トータル的にスタイリングする
45回	これからのスタイリングについて	これからのスタイリングについて

科目名	編集スタイリング	教員名	細谷 典子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>前期はIllustrator&Photoshopの復習を兼ね、業界で活躍するうえで必要なスキルをしっかりと身に付けます。</p> <p>近年ではSNSで情報を発信する事も多いので、上記で学んだスキルを元に前期はInstagramやTwitterにアップする為のきちんとしたデータの作品作成を指導します。</p> <p>夏休み期間中は好奇心を持って本物を見る、感じる事を習慣とするよう事前に伝え、後期は前期に学習したことを踏まえ、卒業・修了制作展に向けてそれぞれが集めた素材を利用したファッション情報誌を作成します。</p> <p>情報誌というページ物を作成する事を目標に、Illustrator&Photoshopを利用し、入稿が出来るレベルのDTP知識を身に付け完成を目指します。</p>		
到達目標	<p>SNSについては、InstagramやTwitterに企業や店舗のイメージアップや広告に対応するスキルを身に付ける。</p> <p>印刷物は入稿が出来るレベルを目標に、どんな情報を届けたいか、何ページにするか、画像の準備や文章の構築など、1つ1つをクリアにし、ページ割り振りをする。作業をしながら必要なDTP知識を身に付け完成を目指す。</p>		
授業の方法	<p>パソコンを苦手とする学生が多いので、じっくりと実力を身に付けさせます。</p> <p>IllustratorやPhotoshopの操作方法を覚えると仕事だけでなく、Tシャツを作ったり、バッグを作ったりも出来るのでその楽しさをわかってもらえるよう丁寧に指導していきます。</p> <p>SNSや1冊の本を作る過程で、一人ひとりが持っている良い部分を伸ばしていき、完成させる喜びを味わって充実した授業を行っていきます。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 加点+0~15% ・授業、課題に対する積極性・授業態度 加点+0~15% ・課題の出来栄え 50% ・課題の完成(含む、提出期限) 50% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>好奇心を持って本物を見る、感じる事を習慣とする。…スマホでインターネットをするだけでなく、街に出かけ、たくさんのいい物を見て感じて欲しいと思います。洋服などのアイテムだけでなく、美術館や作品展なども積極的に見学し、歴史も踏まえていくことで世界観が拡がり、取り組み方を変えていく努力をしてもらえればと思います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	1年次の復習 提出フォルダの作成と保存 Photoshop	提出用フォルダの作成。サンプル画像を準備し仕事に合わせたファイル形式の違いについて指導。作業段階はPhotoshop形式で保存する事の重要性を指導しつつ、リサイズ方法やトリミング方法・調整レイヤーを復習する。
2回	1年次の復習 Photoshop	サンプル画像を使い、マスク機能を利用し切り抜き方法を2種類の指導をする。 ・自動選択ツール・多角形選択ツール。切り抜きをした画像を違う背景画像に移動し、合成写真を作る。
3回	1年次の復習 Photoshop	仕事内容に合わせたサイズの新規用紙作成方法の復習。 フリー素材を検索・保存したり、自分で考えた背景を作る。
4回	1年次の復習 Photoshop	文字入力 中央揃えなどの配置方法。サイズや色を変えたり、縁取りや影、グラデーションの練習をする。
5回	課題:PhotoshopでInstagram用のファイルを作成する	好きなブランドのInstagramを作るイメージを持ち、背景を考え、アイテムの切り抜きや色調補正をし、1枚のInstagram用画像を完成させる。(A3サイズ課題に備え、春夏を意識し作成)
6回	1年次の復習 Illustrator	新規用紙の作成、色々な形を描き方の確認。面や縁取り線の色の変更方法。移動や複製、反転などをやってみる。描いたイラストの形を変更する。
7回	1年次の復習 Illustrator	文字入力 中央揃えなどの配置方法。サイズや色を変えたり、縁取りや影、グラデーションの練習をする。 -Photoshopでも文字入力の練習をしたが、印刷物では文字入力をIllustratorで行うことを理由と共に伝える。
8回	1年次の復習 Illustrator	ベクター画像についての説明とフリー素材のダウンロード方法。枠線や柄をダウンロードし、自分の作品で利用する方法を指導。保存したものとデザインした文字を組み合わせ1つの作品にして行く。
9回	課題:IllustratorでInstagram用のファイルを作成する	好きなブランドのInstagramを作るイメージを持ち、背景を考え、文字の工夫をし、1枚のInstagram用画像を完成させる。(A3サイズ課題に備え、春夏を意識し作成)
10回	課題:PhotoshopとIllustratorでInstagram用のファイルを作成する	これまで学んだことを元に、Photoshopで画像の準備をし、完成画像をIllustratorに配置、文字をIllustratorで入力したり、ベクター画像と組み合わせるなどして完成を目指す。(A3サイズ課題に備え、春夏を意識し作成)
11回	情報誌のラフ作成	どんな情報誌を作りたいかを考え、手描きのラフを作成。すぐには終わらないので2週連続で完成を目指す。 …ページ構成を考えないと白紙のページができてしまうので、しっかりと考えをまとめる。 …ラフを作成中に提出課題を確認、間違えている所や他にこんな方法やアイデアがある事を個人個人に指導。 情報誌作成に生かすようにする(情報誌作成中、繰り返して身に付けていく)
12回	情報誌のラフ作成	
13回	ラフを元に必要な画像を集める	表紙や見開きページに使いたい画像、小さな画像など、目的に合わせてサイズを確認しながら検索、収集する。積極的に自分で撮影した写真も使うように指導。
14回	ラフに合わせて画像のリサイズ	リサイズ方法は4月の授業で行っているが、それぞれ違うデザインなのでサイズ変更や切り抜きなど個人個人に指導、確実に身に付けていく。
15回	ラフに合わせた文章を作成していく	文章はメモ帳に入力し、Illustratorに作った文字ボックスにコピーペーストしていく。(この作業中に画像のリサイズなどの指導を続ける)
16回		
17回		
18回		理解度、ボリュームや検索速度などに違いがあったり、ラフの変更を思いつく学生もいるので個人個人に対応する …その中で全員が身に付けておいた方が良いスキルを追加で説明していく。マスクについてもしっかり身に付けていく。
19回		
20回	13回～15回を繰り返し、	
21回	完成を目指す	
22回		上記を踏まえて個人のやりたい事に対応をしていく。 …引き続き全員が身に付けておいた方が良いスキルの追加説明も行っていく。保存フォルダに間違いはないか、などのチェックもしていく。
23回		
24回		
25回		
26回	情報誌の仮印刷	印刷方法の説明。切れてしまったり、見開きがずれの修正、見栄えを変更したい箇所が出てくるのでデータの修正も行っていく。
27回	情報誌の最終修正	上記を踏まえて、修正作業を続ける。
28回	情報誌の最終訂正と印刷	完成作品を折り畳み、中綴じで完成させる。 完成・提出済みの学生からA3サイズのポスター作りに入る。
29回	Instagram用作品をまとめて1枚のコラージュ風ポスターの作成	全員の提出物の中から自分の作品に合いそうな作品を選び、コラージュ作品を作成する。
30回	情報誌とポスターの最終完成、提出	すべてのチェックを終え、提出。

科目名	和のコーディネート	教員名	岩瀬 晃
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要			
◎浴衣を着る			
◎お茶を点てる			
◎袴を着ける			
◎着物についての知識を知る			
◎四字熟語・日本のことわざを勉強			
到達目標			
◎一人で浴衣が着られるようになる事			
◎お茶を点てて基本的な作法を身に付ける事			
◎襦袢をつけて着物を着て袴をつける経験をする事			
◎着物について(紋・格合わせ、決まり事、文様、染め等)の知識を身に付ける事			
◎着付けの基本を知る事			
授業の方法			
◎マンツーマン方式で浴衣・袴・着付けをする			
◎三人一組でお茶を点てて、右側・真ん中・左側に座った場合のご挨拶を体験			
◎プリントの演習			
成績評価の方法			
◎提出物の有無 20%			
◎筆記試験結果 40%			
◎授業態度 20%			
◎出席率 20%			
※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。			
特記事項			
☆この授業を通して少しでも着物に興味を持ってもらい、仕事に活かすとともに、大人になっても着物を着るようになってくれる事が望ましいです。			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	授業説明・自己紹介	学生一人ずつ自己紹介、作文提出
2回	浴衣を着る / 着物の知識	実習／プリント演習：各部の名称・格合わせ
3回	↓	実習／プリント演習：着物の決まり事①
4回	↓	実習／プリント演習：着物の決まり事②
5回	↓	実習／プリント演習：紋の基本とお洒落、黒紋付き・色紋付き
6回	復習と筆記試験	今までの範囲から出題
7回	お茶を点てる / 着物の知識	お茶の作法／男性・女性の着物
8回	袴をつける・着付け / 着物等の知識	実習／プリント演習：手描き友禅
9回	↓	実習／プリント演習：覚えておきたい着物の決まり事
10回	↓	実習／プリント演習：秋の七草、江戸小紋
11回	↓	実習／プリント演習：礼装の帯、日本のことわざ
12回	↓	実習／プリント演習：四字熟語、黒紋付き・お出かけ着
13回	着物の作法	成人式・卒業式の着物
14回	復習と筆記試験	今までの範囲から出題
15回	集大成	ミニ作文提出

科目名	ファッションアドバイステクニック	教員名	大方 和則
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>テーマ・・・多様なコーディネートとパーソナルスタイリング力を活かしたファッションアドバイステクニック</p> <p>概要・・・リーマンショック以降のグローバルSPAの拡大と、昨今のインスタ映えに代表されるような同調欲求などの同質化要因が増加している。その現状の中で、1つの商品でいかに多様なスタイリングが組み老若男女幅広い消費者を対象とし、消費者に今似合うだけでなく、未知のコーディネートを開拓できるか、つまり、世の中のすべてのショップに全く同じデザイン、品質、価格の白いシャツしかないと仮定した時に、その中でも多くの消費者に売り続ける能力を持つファッションアドバイザー育成を目指す。</p>		
到達目標	<p>①ファッション業界で今、何が起き、どのように変わっているか、の市場動向を理解できている。</p> <p>②FA(ファッションアドバイザー)の役割と、業務全般を理解し、FA職でもスムーズに業務を遂行できる。</p> <p>③消費者を主役とし、トレンド、テイスト、感性、スタイルなど幅広いコーディネートアドバイスをできる。</p> <p>④消費者を主役とし、似合うスタイリング、と未知のスタイリングをアドバイスできる。</p> <p>⑤消費者を主役とし、洋服や生地が生まれた背景をストーリー化しながらアドバイスできる。</p> <p>⑥洋服だけでなく、音楽、映画、カフェ、旅行、その他カルチャー全般に幅広く情報を持っている。</p>		
授業の方法	<p>①30分 FAとして知っておくべき市場動向(講義 参考資料を作成し配布します。)</p> <p>②50分 ファッションアドバイステクニック(講義 小テスト形式の資料を配布し、穴埋めしながら自作のテキストを作っていきます。)</p> <p>③20分 コーディネートチェック、トレンドチェック、スタイルチェック、各ショップの打ち出し(参考画像を用意しプロジェクターに映します。)</p> <p>④40分 ロールプレイング(教室内でグループ分けし、その都度テーマを設けてロールプレイングを行います。)</p> <p>⑤10分 まとめ</p>		
成績評価の方法	<p>①テスト 70点</p> <p>②課題 30点</p> <p>②出席状況(加点)※ただし居眠り、スマホ、私語が目につく場合、出席していても欠席とします</p> <p>③授業内でFAとしてふさわしい礼儀、敬語、挨拶、ふるまい、ができていないか(加点)</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界の現状①	市場規模、売上別にみる動向、新施設、オムニチャネル、トレンド推移、5大コレクション情報など
2回	ファッション業界の現状②	市場規模、売上別にみる動向、新施設、オムニチャネル、トレンド推移、5大コレクション情報など
3回	FAの業務	ファッション業界におけるFAの役割
4回	アプローチテクニック	動的待機から1stアプローチ
5回	アプローチテクニック	1stアプローチから2ndアプローチ
6回	プレゼンテーションテクニック	プレゼンテーションの3つの目的とその狙い
7回	プレゼンテーションテクニック	コーディネートプレゼンテーション (トレンドコーディネート) フィッティング
8回	プレゼンテーションテクニック	コーディネートプレゼンテーション (TPO、小物、ジュエリーコーディネート) フィッティング
9回	靴磨きテクニック	シューケアの基本的な実践トレーニング
10回	プレゼンテーションテクニック	コーディネートプレゼンテーション (カラーコーディネート 2018SSトレンドカラー) フィッティング
11回	プレゼンテーションテクニック	機能性プレゼンテーション (体型別コーディネート)フィッティング
12回	プレゼンテーションテクニック	機能性プレゼンテーション (SS素材の特性をアドバイス) フィッティング
13回	SCロールプレイング大会見学	両国駅
14回	前期まとめ テスト対策	前期授業13回分のまとめ
15回	テスト	テスト 前期授業の総括
16回	SCロールプレイング大会見学	両国駅
17回	プレゼンテーションテクニック	コーディネートプレゼンテーション (カラーコーディネート 2018SSトレンドカラー)
18回	プレゼンテーションテクニック	機能性プレゼンテーション (AW素材の特性をアドバイス)
19回	プレゼンテーションテクニック	機能性プレゼンテーション (AW素材の特性をアドバイス)
20回	クレーム対応テクニック	クレームはなぜ起こるのかとその事例
21回	クレーム対応テクニック	クレーム対応のフロー
22回	補正テクニック	補正の流れと伝票作成、採寸方法
23回	補正テクニック	補正の流れと伝票作成、採寸方法
24回	接客英会話	簡単な英語での接客対応
25回	チーム接客	チームで接客する場合の流れ、立ち位置、注意点
26回	チーム接客	チームで接客する場合の流れ、立ち位置、注意点
27回	チーム接客	チームで接客する場合の流れ、立ち位置、注意点
28回	SCロールプレイング大会見学	みなとみらい駅
29回	後期まとめ テスト対策	後期授業13回分のまとめ
30回	テスト	テスト 一年間の授業の総括

科目名	カメラワーク	教員名	石田 英士												
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年												
授業テーマ・概要	<p>スタイリストとして、撮影業務に携わる人間としての知識やマナーなどを習得します。</p> <p>その上で、撮影実習やスタジオワークを通して、モデルに合うスタイリングだけでなく、シチュエーションや撮影環境に応じた総合的なディレクション能力の育成を目指します。</p> <p>風景スナップでは、デジカメの使用方法を学び写真表現を体感します。</p> <p>物撮影ではコーディネート力、広告撮影では発想力や協調性、デザイン力を養います。</p> <p>スタジオワークではライティング表現の可能性を学び、表現の幅を広げられる力の育成を目指します。</p>														
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリストとして必要な撮影知識を理解し、ファッションスタイリングだけでなく、撮影画面全体のバランスを考えられるディレクション能力を身につけること。 ・ライティングなどを学ぶことにより、撮影環境に応じたスタイリング表現を身につけること。 ・撮影現場での対応能力をメンタルを含め高いレベルで維持できる力を身につけること。 														
授業の方法	<p>撮影実習を中心に授業を進めていきます。</p> <p>イメージの構築、準備、プロセスにも重きを置き、フィニッシュまで全体を考えられるように指導していきます。</p> <p>スタジオワークでは実際の現場での動きなども体感していきます。</p>														
成績評価の方法	<table> <tr> <td>・撮影実習仕上り</td> <td>60%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構成力</td> <td>20%</td> <td>・授業態度加点</td> <td>+0～10%</td> </tr> <tr> <td>・準備、プロセスなど</td> <td>20%</td> <td>・出席日数加点</td> <td>+0～15%</td> </tr> </table> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>			・撮影実習仕上り	60%			・構成力	20%	・授業態度加点	+0～10%	・準備、プロセスなど	20%	・出席日数加点	+0～15%
・撮影実習仕上り	60%														
・構成力	20%	・授業態度加点	+0～10%												
・準備、プロセスなど	20%	・出席日数加点	+0～15%												
特記事項															

回数	授業テーマ	授業内容
1回	撮影とは？	撮影の基礎知識
2回	デジカメ講習+テスト撮影	デジカメの使い方、テスト撮影
3回	撮影実習	表参道スナップ
4回	物撮影とは？	物撮影準備
5回	撮影実習	物撮影
6回	ライティング表現	ストロボなどを使用し、ライティング表現を学ぶ
7回	ファッション撮影とは？	ファッション撮影における表現を学ぶ
8回	広告撮影とは？	広告表現を学ぶ、撮影準備
9回	撮影実習	広告撮影
10回	広告デザイン	実習データを元に広告デザイン
11回	スタジオワーク	スタジオセットの中でスタイリストの動きなどを学ぶ
12回	ポートレート撮影	ポートレート撮影を学ぶ、撮影準備
13回	撮影実習	セルフポートレート撮影
14回	撮影実習	組写真
15回	撮影実習	ユニット撮影(ショー用コスチューム)

科目名	カラーコーディネート	教員名	杉本 祐子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界で仕事をする際、どのような分野でも色彩の知識は必要となる。2年次では1年次の基礎と2年次で更に深める知識の習得を併せ、幅広く柔軟に対応できるように各自の能力を磨く。</p> <p>ファッション色彩能力検定も全員2級または3級(1年次で未習得者は3級)取得を目指す。</p> <p>概要 : ①流行論、配色調和論。 ⑤カラーライゼーションと商品の色彩計画 ②街頭・着装別カラー調査、実市場を分析。 ⑥代表的な柄の種類、柄の創作と配色計画 ③パーソナルカラーの仕組みと概要、カラー診断 ⑦ファッション色彩能力検定対策 ④服装・美術工芸・建築・色彩文化との関連</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩に関する知識を柔軟に活用・応用できるようになること。 ・色彩だけではなく、流行やファッションに影響を与える分野の知識(デザイン様式や柄の種類)も習得すること。 ・パーソナルカラーに関する知識・アドバイスキルを習得し、仕事に活かせるレベルに達すること。 ・各種知識を総合して各自の能力を磨き、コーディネート能力を高めること。 		
授業の方法	<p>講義 : PPTやオリジナルの教材を使用し、より効果的、より具体的に分かりやすく興味深い内容とする。</p> <p>流行やファッションに影響を与える服装史、デザイン様式なども色彩文化と連動させた知識の習得。</p> <p>演習 : 知識の柔軟な活用・応用に重点を置く。</p> <p>色彩計画の立案、デザイン、イメージの表現力や創造性を高め各自の感性、能力を磨く。</p> <p>知識の習得と共に、プレゼンテーション、デザイン表現、調査、研究的課題も実施。</p>		
成績評価の方法	<p>◎課題(提出期限も含む) : 課題8(作品数14)</p> <p>○完成度 50% ○創造性 30% ○企画力 20%</p> <p>◎授業・課題に対する積極性・授業態度 加点 +0~10%</p> <p>◎出席率 加点 +0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>美術展鑑賞や新しいトレンドの動向などを積極的にチェックし、感性を磨く努力をしてください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	各自の色使いの特徴を分析	配色結果を分析、グラフ化し偏りなく色を使えるようにする
2回	トーンの確実な理解	オリジナルトーンマップを作成し理解を確実なものにする
3回	〃	〃
4回	デザイン様式と色彩文化 ①	古代～中世の服飾・美術工芸・建築などと色彩文化
5回	〃 ②	近世～近代の 〃
6回	〃 ③	現代以降(アール・デコ以降)の 〃
7回	〃 ④	上記から選択しインスピレーションからデザイン表現とレポート
8回	パーソナルカラーのしくみ	パーソナルカラーの概要と分類
9回	〃	イエローベースによる分類マップの作成
10回	〃	ブルーベースによる分類マップの作成
11回	〃	カラー診断
12回	〃	カラー診断
13回	カラーライゼーションと色彩計画	多色展開商品の並べ方の法則とカラープランニング
14回	ファッションイメージと色彩	イメージスケール、各イメージタイプ別マップの作成
15回	〃	フェミニン、マニッシュ
16回	〃	モダン、クラシック
17回	〃	エスニック、スポーティブなど
18回	街頭にて着装別カラー調査	色見本持参で街頭にて調査の実施、実市場を把握
19回	調査のまとめ	調査結果のグラフ化とレポート
20回	〃	〃
21回	柄の種類学習	代表的な柄の種類学習と柄の創作
22回	柄の創作と配色違い	創作柄の配色違いの色彩計画
23回	〃	〃
24回	〃	〃
25回	ファッション色彩能力検定対策	検定試験範囲の復習
26回	〃	〃
27回	フォローアップ	フォローアップ
28回	卒修展作品	色を切り口としたCDジャケットのデザイン2点
29回	〃	〃
30回	〃	〃

科目名	マーケティング企画	教員名	玉村 雅美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>ファッション業界で仕事をするうえで「マーケティング」の意義と必要性について学びます。</p> <p>ビジネスの原点である「市場」の役割と変化を確認し、マーケティングの基本活動を理解します。</p> <p>また、実際の企業の注目事例を検証し、顧客満足につながるアイデアの出し方も学習します。</p> <p>マーケティングの基本フレームワークを活用して、ファッション業界の現状を分析し、将来に向けてのファッションビジネスの予測と提案をする論文マップ制作(分析力、思考力、先見力の練磨)</p> <p>「マーケティング」は、ビジネスとしてだけでなく日常生活の中から親しんでいくことの大切さも確認します。</p>		
到達目標	<p>◎「マーケティング」の意義と必要性を認識し、マーケティングの基本活動を理解する。</p> <p>◎マーケティングを学ぶことで重要キーワード(顧客満足、差別的優位性、顧客など)を正確に把握する。</p> <p>◎日常の生活(買い物体験)から、「マーケティング」を意識した発見力、思考力、先見力をつける。</p> <p>◎「創意工夫」しながら仕事をする事(改善)＝「ビジネスの成功と自分の成長」に繋がることを認識する。</p> <p>◎SC科としてファッションビジネスの論文マップ制作を通じて応用力、思考力、企画力を高める。</p> <p>→ビジネスの現状(問題点)→(改善に向けて)→将来の予測、提案の流れ(PDCA)を活用できること。</p>		
授業の方法	<p>◎講義とレポート記述・他。講義への集中度を高めるために、専用のシートを配布し、理解の向上を促す。</p> <p>◎専用シートを時系列にファイリングすることで、「マーケティング」の基本活動の流れを掌握する。</p> <p>◎ファッションビジネス用語辞典を活用して授業で取り上げたキーワードを確認し、理解を深める。</p> <p>◎雑誌などのビジュアルツールを活用したマップ制作を通じて、考えたことを見える化する。(視覚伝達力)</p> <p>◎最終的に「マーケティング」は、「毎日の生活を楽しむツール」であると感じ取れるように指導する。</p>		
成績評価の方法	<p>◎専用のシートの記入・検印 及び課題の内容・出来栄(含む、提出期限) 50% 前期 (100% 後期)</p> <p>◎テスト 50% 前期 (0% 後期)</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>◎日常のショッピング体験から、お客とお店の立場で「マーケティング」を意識してみると良いです。</p> <p>◎教材として「ファッションビジネス用語辞典」を使用します。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	マーケティングを学ぶにあたって、授業の進め方など
2回	マーケティングの基本①	マーケティングを考える／イメージマップ制作
3回	↓ 基本知識とフレームワーク	市場の変化、マーケティングの必要性を知る(環境と市場)
4回	↓	マーケティングの基本的な活動要素について(顧客と企業)
5回	↓	マーケティング活動で大切なこと(差別化)
6回	↓	マーケティング・ミックス(適切な商品) フレームワーク
7回	↓	↓
8回	↓	マーケティング・ミックス(妥当な価格)
9回	↓	マーケティング・ミックス(魅力的な売り場)
10回	↓	マーケティング・ミックス(効果的な告知)
11回	↓	マーケティング・ミックス(総覧・キーワード) マインドマップ
12回	↓	前期のまとめ&テスト
13回	↓	前期のまとめ
14回	↓	マーケティングの創造力の開発(差別化の実践)
15回	↓	↓
16回	マーケティングの基本②	マーケティング・ミックス分析(適切な商品)
17回	↓ フレームワークを活用する	マーケティング・ミックス分析(妥当な価格)
18回	↓	マーケティング・ミックス分析(魅力的な売り場)
19回	↓	マーケティング・ミックス分析(効果的な告知)
20回	↓	マーケティングQ&Aレポート
21回	マーケティングの応用	ファッションビジネスへの提案／イントロダクション
22回	↓ ファッションビジネスを考える	↓ /テーマ設定、現状分析
23回	↓	↓ /将来への予測・提案
24回	↓	↓ /ビジュアルマップ制作
25回	↓	↓ ↓
26回	↓	↓ まとめ
27回	↓	ファッションビジネスの将来(最終講義)
28回	↓	ワンダーマーケティング プランニング
29回	↓	↓ 制作
30回	総括	後期まとめ ファイルチェック

科目名	リテールマーケティングⅡ	教員名	畑中 修司
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>「自分で選ぶ売れる商品ディレクション」作成を前期に行い、プレゼンテーションの授業と関連性を持たせるようにしていきます。また、理論では、インスタマーチャンダイジングを覚えるまで何度も反復します。</p> <p>さらに、仮設ショップを組み立てる過程で、ショップの財務の基本を勉強します。その他、係数の勉強も、全員がついてこられるように丁寧に授業していきます。特に、損益分岐点、商品回転率、プロパー消化率などの計算は、アパレルでは重要になってきますので、理解するまで行います。</p> <p>マーケティングでは、SWOT分析のやり方とマーケティングミックス4Pを、ケーススタディを使って行います。</p>		
到達目標	<p>お客様の欲望やニーズに「共感できる能力」や人間性を身に付けていくと同時に、自分がこれから扱うであろう、商品やサービスについて、その価値を理解し、情熱を持ってご提案できる知恵と、売り場をしっかりと準備できる基本的な方法を身に付けていきます。</p>		
授業の方法	<p>グループワークや体験出来るパソコンワークなどを中心に行い、授業中に発表していただく機会を多く取ります。 (アウトプット中心)</p>		
成績評価の方法	<p>期末にテストを行い、得点した点数で評価します。(テストの難易度に応じて加点調整する場合があります) 出席率はその度合いによって加点評価します。 ただし、出席率50%以下は無条件で「不可(F)」となります。</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	モチベーションアップの技法	本能としてのファッションと、自分自身を形作るもの
2回	スタイリングの理論とISMD	ファッションスタイル、インスタマーチャンダイジングについて
3回	バイヤーの仕事	必要な資質、仕入れの時、何に気を付けるのか、バランス等
4回	ショップでのリーダーシップ	店長になったら気を付けること、10個の要素、ほめるワーク
5回	2018-19A/W商品ディレクション1	自分が考える2018~19年A/Wのおすすめ商品の画像を集める
6回	2018-19A/W商品ディレクション2	集めた画像をパワーポイントに張り付ける
7回	2018-19A/W商品ディレクション3	スタイリングテーマを決めて説明文書を作る
8回	2018-19A/W商品ディレクション4	張り付けた画像に提案の言葉を書き込む
9回	2018-19A/W商品ディレクション5	出来たシートを発表する1
10回	2018-19A/W商品ディレクション6	出来たシートを発表する2
11回	ケーススタディで知る財務の基本	損益計算書、粗利益率、商品回転率など
12回	グループになって仮想店舗作成1	見積損益計算書を学習する
13回	グループになって仮想店舗作成2	立地条件、レイアウトなどを考える。家賃の相場を知る
14回	グループになって仮想店舗作成3	各班の店舗発表
15回	前期カリキュラムの総復習と検定対策	理解度の確認テスト
16回	ファッションの流れと現在	3つのターニングポイントの理解と個々のトレンドの源流を知る
17回	SPAの構造とチェーンオペレーション	スケールメリットの理解、リードタイムの短縮、商社の役割
18回	財務管理の基本1	損益分岐点売上高とは、減価償却費とは
19回	財務管理の基本2	プロパー消化率など、小売り段階で必要な計算について
20回	商品ポートフォリオの理解1	アンゾフの成長ベクトル
21回	商品ポートフォリオの理解2	PPMの考え方
22回	インスタマーチャンダイジング	視認率と立ち寄り率(手に取ってもらう率)を考える
23回	ブランディングの意味	本質+αの商品開発とネーミングの方法
24回	ケーススタディで知るSWOT分析	某ブランドが有名になっていく過程の研究
25回	ケーススタディで知るマーケティングミックス	ブランド育成のために地道に実際に行う事
26回	各種市場セグメント材料について	ファッション雑誌のポジショニングなど細分化の基準について
27回	クロージングの実際	購入していただく最後のステップを強化する
28回	色・形・素材によるスタイリングの種類	造形と素材の心理学とマーケティングについて
29回	インターネットマーケティングの基礎	HP、インスタグラム、フェイスブック、PPC広告などについて
30回	小売業マーケティング理論のおさらい	重点ポイント 総復習とテスト

科目名	ビジュアルマーチャンダイジングⅡ	教員名	大橋 康子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>商品・ディスプレイを含め、1年次より広い範囲でVMDの理解を深めていきます。</p> <p>まず、VMDについての基本用語の復習、VPの効果や表現、PP、IPの商品陳列を詳しく学びます。</p> <p>店舗のVMDについては、平面図の読み方からレイアウト方法(什器、通路、商品構成)を学び、</p> <p>実習により什器・マネキンを使い、店舗レイアウト+商品構成まで考えてプランニングしていきます。</p>		
到達目標	<p>・VPのコーディネーションスキルを身につけるとともに、IP、PPと商品の表現方法について、</p> <p>考え方・テクニック・実務スキルを身につけ、店舗全体のVMDの提案ができるようになること。</p>		
授業の方法	<p>講義を通してVP、PP、IPの事例や考え方を理解し、実習を通してスキルとして体得できるように、三要素を中心に指導します。</p>		
成績評価の方法	<p>・課題(サマープラン、店舗プラン) 完成度、アイディア、デザイン 50%</p> <p>・VMD理解度 実習作業・小テストでのVMD理解度評価 50%</p> <p>・提出期限、出席率、授業態度 加点評価+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	VMDとディスプレイ	店舗のモデルケース(VP、PP、IP)
2回	サマープラン	夏の演出小物 プラン、制作
3回	↓	↓
4回	商品のVMD(応用) ラック	商品グルーピングのアイデア、分類、整理
5回	↓ 棚	↓
6回	ショップレイアウト	空間構成、レイアウト方法
7回	↓	↓
8回	商品レイアウト	商品構成、レイアウト方法
9回	レイアウト実習(I)	ショップ内 什器のレイアウト、作業
10回	↓ 実習(II)	商品構成、レイアウト確認
11回	↓ 実習(III)	MYショップ VP、レイアウト
12回	店舗プラン	課題説明、ショップイメージ
13回	↓	商品セレクト、平面レイアウト
14回	↓	ウインドウプラン
15回	↓	企画書、サンプル制作

科目名	スタイリストワーク	教員名	難波 由美子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリストアシスタントの心構えを理解する。 ・撮影現場でのスタイリストやアシスタントの仕事の役割を理解し、同時にスタイリストの魅力を知ることを目指す。 ・自分のセンスを表現したり、自身の営業ツールの一環としても有益な、ポートフォリオの制作を目指す。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・即戦力となるスタイリストアシスタント業務・技術を身につけること。 ・実践的なコーディネート知識や技術、スタイリングテクニックを学び身につけること。 ・自身のポートフォリオを作成し、完成までを目標とする。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラワークの授業と連携を計りながら、スタイリストとしての一連の仕事の流れを学べるように実技を中心に指導する。 ・事例などの資料をもとにスタイリングテクニックを指導する。 ・自分の考えたコーディネートを的確に伝えられるように参加型の授業を取り入れる。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイリストの技術 50% ・提出課題 30% ・コーディネート力 20% ・出席率 加点+0~15% ・授業、課題に対する積極性、授業態度 加点+0~10% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	スタイリストとは	スタイリストの仕事や種類
2回	セルフプロデュース	セルフポートレート撮影
3回	ポートフォリオの必要性	プロフィール作成、カバーのデザインなど
4回	リースショップ	リースショップ見学、エリアリサーチ
5回	撮影前準備(「カメラワーク」連携)	衣装チェック、アイロン、底貼りなどの前準備
6回	Photo select	写真の仕上がりチェック
7回	3点コーディネート①	Yシャツ、ネクタイ、ジャケットのコーディネート
8回	撮影実習(「カメラワーク」連携)	プロカメラマンによる撮影実習
9回	スカーフの巻き方	スカーフをアレンジ、アイロンなど
10回	3点コーディネート②	小物のコーディネート
11回	撮影前準備(「カメラワーク」連携)	衣装チェック、アイロン、底貼りなどの前準備
12回	Basic work	アイロン、底貼り、裾上げなど
13回	撮影前準備(「カメラワーク」連携)	衣装チェック、アイロン、底貼りなどの前準備
14回	ポートフォリオ制作	ポートフォリオ制作
15回	ポートフォリオ制作	ポートフォリオ制作

科目名	プレゼンテーション	教員名	畑中 修司
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>ビジネスの基礎になっているのはコミュニケーションです。相手が理解しないと物事が進まないの、ビジネスでの基本レベルの伝え方を理解してもらう授業を行います。</p> <p>具体的には、自分で作成した資料を毎回発表して頂きます。発表のテクニック習得と、場に慣れるために「人の前で話す」ことを体験してもらいます。</p> <p>具体的には、就職で役に立つ自己紹介や、自分が表現したいことを短時間でまとめ、発表する練習を行います。</p>		
到達目標	<p>これまで人の前で発表する機会が少なかった学生が多いので、まずは、プレゼンテーションに慣れることを目標にし、徐々にテクニックや表現方法を駆使できることを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>仕事で使える自己紹介文書は、チェックに時間を要するので、確実に記載したあとに提出し、当方が添削して、まとめ直してもらいます。</p> <p>発表するテーマについては、事前に伝え、頭の中で考えてくる時間を与え、話す回数を多く取ります。また、コレクションの動向などを自分で調べて、自分で特徴を見出す練習も行います。</p> <p>さらに、パワーポイントを使って発表してもらう課題を課します。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回発表を行って、その発表の内容と表現に応じて点数をつけて評価します。（評価割合50%） ・出席率（評価割合50%） <p>ただし、出席率50%以下は無条件で「不可(F）」となります。</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>基本的に出席しないとプレゼンできないので、プレゼンの内容よりも出席率重視となります。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	プレゼンテーション技術の基本理論	3パートに分けるなど、表現方法の基本説明
2回	プレゼンテーションの実践1	自分自身で自己紹介の原稿を書き、添削
3回	プレゼンテーションの実践2	添削後、書き直して、原稿を覚えて自己紹介
4回	プレゼンテーションの実践3	「勧めたい商品」「勧めたいブランド」「勧めたいアーティスト」
5回	プレゼンテーションの実践4	感動した話のプレゼンテーション その後のフィードバック
6回	パリコレ・ミラノコレの研究と発表	各自、自分で調査。内容のプレゼン
7回	SC科ディレクション作品プレゼンテーション	リテールマーケティングの授業で作成したディレクションの発表
8回	FC科デザイン画についてプレゼンテーション	デザイン画について、テーマ、素材、色等の特徴の説明
9回	商品の企画プレゼン1 パソコン活用	自分の街のデータをパソコンで収集
10回	商品の企画プレゼン2 パソコン活用	収集した画像などをパワーポイントで整理
11回	商品の企画プレゼン3 パソコン活用	フリーハンドで車をデザイン スキャニング
12回	商品の企画プレゼン4 パソコン活用	パワーポイント、プロジェクターを活用してプレゼンテーション
13回	ファッション業界についての課題	話し合いたい課題をピックアップし、プレゼンとディスカッション
14回	アパレル業界で働くときの基本意識	8つの意識とプラス思考
15回	基本スキルを再確認	基本項目を確認。その後、将来の目標の原稿を書く

科目名	ファッション造形Ⅱ	教員名	小堀 雅恵
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学んだ知識と技術を活かして服作りに励む。 ・リメイク作品ではオリジナリティのある、完成度の高い物作りを目指す。 ・コーディネート作品の製作を通して、ファッション小物としての商品企画、製作を学ぶ。 ・目標や納期を守るため時間管理を身に付ける。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服の構造と工程、素材の扱い、縫製テクニックについて理解できるようになること。 ・就職を意識し、店頭及び現場で必要とされる知識や即戦力となる技術を習得すること。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次からの応用アイテムの縫製指導(工程図解書配布、実技指導) ・レーザーを使った小物製作により、衣装などに使われる特殊素材の扱い方を指導する。 ・リメイク作品の縫製指導 ・完成度を上げるため品質管理を徹底させる。 ・個々の作品作りではあるが、コミュニケーション能力を身に付けるため、班体制をとる。 		
成績評価の方法	<p>①作品の品質評価(含む 提出期限) 50% ②商品企画力(小物、リメイク作品) 30%</p> <p>③現場における知識の評価(筆記、実技テスト実施) 20%</p> <p>◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0~10%</p> <p>◎出席率 加点+0~15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	卒修展について 店頭及び現場で必要とされる知識の復習
2回	シャツ	裁断・芯貼り・縫製工程について
3回	↓	縫製 袖作り ケンボロ明き
4回	↓	↓ 衿作り
5回	↓	↓ 身頃作り
6回	↓	↓ 袖付け～脇縫い
7回	↓	↓ カフス作り～付け 衿付け
8回	↓	↓ 裾始末・釦ホール明け・釦付け
9回	ファスナーを使った小物企画・提案	小物企画書作成・資材説明・パターンカット
10回	↓	裁断・縫製
11回	↓	↓
12回	リメイク作品	企画・提案 デザイン画作成 資材相談
13回	↓	資材確認・工程説明
14回	↓	リメイク作業
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	完成・提出 品質チェック
19回	パンツ	裁断・芯貼り・ロック
20回	↓	縫製 前パンツ作り
21回	↓	↓ フライフロント明き
22回	↓	↓ 後パンツ作り
23回	↓	↓ 脇・股下縫い ベルト作り
24回	↓	↓ ベルト付け 裾始末 釦ホール明け 釦付け 提出
25回	筆記・実技テスト	筆記:基礎知識・シャツ・パンツ 実技:裾上げ まつり縫い
26回	パーカー	裁断
27回	↓	縫製
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	総まとめ	学期末テスト(筆記・実技)

科目名	コミュニケーションマナーⅡ	教員名	秋山 美子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>2年生に進級した皆さんは、次の4月には晴れて「新社会人」になります。</p> <p>アパレル業界にとどまらず、どのような業界にも共通するマナーは、人間関係を円滑にし、コミュニケーションの基本は、自分の能力や個性を伸ばしていくツールにすることができます。</p> <p>1年をかけて、学校社会よりもずっと広い「実社会」に出る準備を、1歩ずつ進めていきます。</p>		
到達目標	<p>・マナー、コミュニケーションの基本を確実なものとし、社会に出て、職場で少しでも早く次の段階にステップアップできる自分を作ること。</p>		
授業の方法	<p>前期は、1年次に習得した敬語、基本的所作のブラッシュアップ、自己分析を加えた、就職模擬面接実習中心。</p> <p>後期は、新社会人として学んでおきたいマナー・人付き合い・自分づきあいを中心に、ロールプレイを加えた講義。</p> <p>知識だけでなく、心が伴うマナー、コミュニケーションを目指します。</p> <p>また、一人ひとりの個性、良いところを伸ばし、社会人になる自分づくりをサポートしていきます。</p>		
成績評価の方法	<p>◎テスト 30%</p> <p>◎授業の取り組み方(積極性)、授業態度(マナー) 30%</p> <p>◎出席日数 40%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>就職活動の主軸は「自分自身」という認識が必要です。</p> <p>企業分析・自己分析、質疑応答・基本動作の練習をしたうえで、模擬面接で自信をつけましょう。</p> <p>また、来春に向けて、社会人としての自覚を持って、授業に臨んでください。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	就職活動対策	面接で自分を伝える準備と技術
2回	↓	↓
3回	↓	↓
4回	↓	模擬面接
5回	↓	↓
6回	前期テスト、就職活動対策	前期実技テスト、模擬面接
7回	就職活動対策	模擬面接
8回	公の場でのマナー	結婚式の出席マナー
9回	↓	葬儀の参列マナー
10回	↓	食事のマナー
11回	ビジネス基本マナー	ビジネスシーンでの茶菓接待のマナー
12回	↓	ビジネスシーンでの電話対応・メールのマナー
13回	コミュニケーション心理学	仕事で使える心理学
14回	後期テスト	後期のまとめ & テスト
15回	プレ研修 for新社会人	卒業証書・賞状の受け方 新社会人の心構え

科目名	英会話Ⅱ(シニアコース)	教員名	SUZANNE STEINER
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での基本的なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基本を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>毎回の授業の始めに、教師が学生に英語で楽しい質問をし、学生は英語でそれに答える訓練をします。</p> <p>そのあと、テキスト&CDおよび教師が用意したレジユメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 20% ・授業態度(参加意欲) 20% ・テスト 60% ・フォローのための作文 +30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「FASHIONABLE ENGLISH a language course for design students」(南雲堂)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、Placement Test
2回	11WHAT'S THE PURPOSE OF YOUR VISIT ?	教師と会話、テキスト(Going Overseas)・日常会話ロールプレイング
3回	↓	教師と会話、テキスト(Going Overseas)・日常会話ロールプレイング
4回	12 MAY I USE YOUR PHONE ?	教師と会話、テキスト(Homestay)・日常会話ロールプレイング
5回	↓	教師と会話、テキスト(Homestay)・日常会話ロールプレイング
6回	↓	教師と会話、テキスト(Homestay)・日常会話ロールプレイング
7回	13 HOW ABOUT A MOVIE ?	教師との会話、テキスト(Going out)・日常会話ロールプレイング
8回	↓	教師との会話、テキスト(Going out)・日常会話ロールプレイング
9回	↓	教師との会話、テキスト(Going out)・日常会話ロールプレイング
10回	14 WHERE IS THE TICKET AGENCY ?	教師との会話、テキスト(Directions)・日常会話ロールプレイング
11回	↓	教師との会話、テキスト(Directions)・日常会話ロールプレイング
12回	↓	教師との会話、テキスト(Directions)・日常会話ロールプレイング
13回	15 ARE YOU READY TO ORDER ?	教師との会話、テキスト(Eating out)・日常会話ロールプレイング
14回	↓	教師との会話、テキスト(Eating out)・日常会話ロールプレイング
15回	↓	教師との会話、テキスト(Eating out)・日常会話ロールプレイング
16回	16 HOW MUCH IS ?	教師との会話、テキスト(Shopping)・日常会話ロールプレイング
17回	↓	教師との会話、テキスト(Shopping)・日常会話ロールプレイング
18回	↓	教師との会話、テキスト(Shopping)・日常会話ロールプレイング
19回	17 HOW DOES IT FIT ?	教師との会話、テキスト(Retail Sales)・日常会話ロールプレイング
20回	↓	教師との会話、テキスト(Retail Sales)・日常会話ロールプレイング
21回	↓	教師との会話、テキスト(Retail Sales)・日常会話ロールプレイング
22回	18 MAY I SPEAK TO MRS. PECK ?	教師との会話、テキスト(Telephone Calls)・日常会話ロールプレイング
23回	↓	教師との会話、テキスト(Telephone Calls)・日常会話ロールプレイング
24回	↓	教師との会話、テキスト(Telephone Calls)・日常会話ロールプレイング
25回	19 DO YOU HAVE WORK EXPERIENCE ?	教師との会話、テキスト(Employment)・日常会話ロールプレイング
26回	↓	教師との会話、テキスト(Employment)・日常会話ロールプレイング
27回	↓	教師との会話、テキスト(Employment)・日常会話ロールプレイング
28回	20 BREAK A LEG ?	教師との会話、テキスト(Fashion Shows)・日常会話ロールプレイング
29回	↓	教師との会話、テキスト(Fashion Shows)・日常会話ロールプレイング
30回	↓	教師との会話、テキスト(Fashion Shows)・日常会話ロールプレイング

科目名	英会話Ⅱ(エレメンタリーコース)	教員名	JERRY SCHLEGEL
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る&出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る&出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との英語での基本的なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基本を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。 		
授業の方法	<p>楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。</p> <p>授業は、テキスト&CDおよび教師が用意したレジュメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。</p> <p>授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。</p>		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト 60% ・授業態度(参加意欲) 40% ・出席率 加点+0~30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>テキストとして「FASHIONABLE ENGLISH a language course for design students」(南雲堂)を使います。</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 、 Placement Test
2回	0 IT'S NICE TO MEET YOU !	テキスト(Meeting People) ロールプレイング
3回	↓	↓
4回	1 WHAT SHALL I WEAR ?	テキスト(Clothes and Apparel) ロールプレイング
5回	↓	↓
6回	2 WHAT COLOR IS IT ?	テキストブック(Colors and Patterns) ロールプレイング
7回	↓	↓
8回	5 WHAT'S HOT AND WHAT'S NOT ?	テキスト(Styles and Trends) ロールプレイング
9回	↓	↓
10回	6 WHAT DOES HE LOOK LIKE ?	テキスト(Describing People) ロールプレイング
11回	0、1、2、5の復習	テストのための復習
12回	テスト	テスト、まとめ
13回	6 WHAT DOES HE LOOK LIKE ?	テキスト(Describing People) ロールプレイング
14回	↓	↓
15回	7 WHAT'S YOUR PLACE LIKE ?	テキスト(Home Decorating) ロールプレイング
16回	↓	↓
17回	8 WHERE DID YOU GET IT ?	テキスト(Shops and Cafes) ロールプレイング
18回	↓	↓
19回	10 HOW OFTEN DO YOU GET A HAIR CUT ?	テキスト(Daily Routines) ロールプレイング
20回	↓	↓
21回	11 WHAT'S THE PURPOSE YOUR VISIT ?	テキスト(Going Overseas) ロールプレイング
22回	↓	↓
23回	12 MAY I USE YOUR PHONE ?	テキスト(Homestay) ロールプレイング
24回	↓	↓
25回	13 HOW ABOUT A MOVIE ?	テキスト(Going Out) ロールプレイング
26回	6、7、8、10、11、12の復習	テストのための復習
27回	テスト	テスト、まとめ
28回	13 HOW ABOUT A MOVIE ?	テキスト(Going Out) ロールプレイング
29回	20 BREAK A LEG !	テキスト(Fashion Shows) ロールプレイング
30回	↓	↓